

【担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、可能な限り同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築が着実に進み、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場において、子どもたちが自立と社会参画のために必要な力を身につけています。

平成 31 年度末での到達目標

子どもたちの自立と社会参画をめざして、一人ひとりのニーズに応じた早期からの一貫した支援が行われ、各発達段階で必要な能力や態度が養われることにより、子どもたちの進路希望が実現しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
特別支援学校 高等部の一般 企業就職希望 者の就職率		100%	100%		100%	100%
	100%	100%				
目標項目の説明と平成 30 年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	一般企業への就職を希望している県立特別支援学校高等部の生徒の就職率 (就労継続支援 A 型事業所を除く)					
30 年度目標 値の考え方	一般企業への就職を希望している生徒全員の希望が実現できることを目標に、毎年 100%に 設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22401 早期から の一貫した支援 の推進 (教育委員会)	特別支援学級に おいてパーソナ ルカルテを活用 している小中学 校の割合		70.0%	74.7%		87.4%	100%
		59.2%	70.7%				
22402 特別支援 学校のキャリア 教育の推進 (教育委員会)	特別支援学校版 キャリア教育プ ログラムを作成 した特別支援学 校の割合(累計)		50.0%	68.0%		88.0%	100%
		37.5%	62.5%				

基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22403 特別支援 学校の整備 (教育委員会)	「三重県特別支援教育推進基本計画」に基づき整備された特別支援学校数(累計)		0校	2校		3校	3校
		—	0校				

現状と課題

- ①特別な支援を必要とする子どもたちが増加しており、特に小中学校の通常の学級や高等学校において、発達障がいのある子どもたちへの指導・支援や校種間での円滑な支援情報の引継ぎなど、早期からの一貫した支援体制の充実を図る必要があります。
- ②特別支援学校には、医療的ケアの必要な子どもたちが一定数在籍しており、身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、支援を行う必要があります。
- ③特別支援学校における企業への就職を希望する生徒の就職率は、近年100%となっており、今後もより多くの生徒が幅広い選択肢の中から、希望する進路を選択していけるよう、キャリア教育を充実するとともに、職域を拡大していく必要があります。
- ④特別な支援を必要とする子どもたちがどの学校にも在籍する可能性があることから、小・中・高等学校教員の特別支援教育に係る専門性の向上を図る必要があります。
- ⑤平成30年4月に開校する県立松阪あゆみ特別支援学校については、子どもたちや保護者が安心して開校を迎えられるよう、学習環境の整備を進めるとともに、保護者、地域住民等を対象とした説明会を実施しています。子どもたちに、地域で豊かに生きていく力を育むため、市街地に立地する利点を活かして地域と連携した取組を進める必要があります。

平成30年度の取組方向

- ①就学前、小・中・高等学校、特別支援学校等の間で指導・支援に必要な情報が確実に引き継がれるよう、パーソナルカルテの活用を一層促進するとともに、切れ目ない支援体制の充実を図ります。
- ②医療的ケアの必要な子どもたちが、より安定した状態で、安心して学校生活を送ることができるよう、医療的ケアを安全に実施するためのマニュアルの改善により組織的な支援を進めるとともに、スキルアップ研修会を開催して担当者の専門性の向上を図ります。
- ③特別支援学校高等部の生徒が、進路希望を実現し、地域生活に円滑に移行できるよう、各学校で作成している特別支援学校版キャリア教育プログラムの活用を進めるとともに、生徒一人ひとりの能力や適性に応じた職種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓を進めます。また、企業との連携のもと、各種技能検定や職場実習の実施に取り組みます。
- ④小・中・高等学校の教員の特別支援教育の専門性を向上するため、各特別支援学校のセンター的機能による教育相談等を進めるとともに、かがやき特別支援学校における発達障がい支援に係る研修会等の取組を進めます。また、通級指導担当教員を対象とした研修講座を実施します。
- ⑤県立松阪あゆみ特別支援学校(平成30年4月開校)については、多様な交流の機会の確保、職場実習や体験学習の実施等、社会参画と自立に向けたきめ細かな指導に取り組みます。

主な事業

- ①早期からの一貫した教育支援体制整備事業【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 18,158千円 → (30) 20,561千円
事業概要：特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参画に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その可能性を最大限に伸ばすため、パーソナルカルテの活用促進や指導・支援に係る研修会の実施、発達障がいのある子どもに対応した指導法の研究など、支援の充実を図ります。
- ②特別支援学校メディカル・サポート事業【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 8,857千円 → (30) 6,334千円
事業概要：医療的ケアの必要な子どもが身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、常勤講師（看護師免許所有）および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、専門性の向上を図る研修会の実施や医師等による指導・助言など、校内支援体制の充実を図ります。
- ③特別支援学校就労推進事業【基本事業名：22402 特別支援学校のキャリア教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 6,055千円 → (30) 9,392千円
事業概要：特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、特別支援学校版キャリア教育プログラムの作成と活用を進めるとともに、企業、関係機関等と連携することで、高等部生徒の進路希望の実現を図ります。
- ④特別支援学校スクールバス等運行委託事業【基本事業名：22403 特別支援学校の整備】
（第10款 教育費 第5項 特別支援学校費 1特別支援学校費）
予算額：(29) 265,876千円 → (30) 270,088千円
事業概要：4月に開校する松阪あゆみ特別支援学校も含め、特別支援学校の児童生徒の通学に係る負担を軽減するため、スクールバスを運行します。